

未来へ語り継ごう 平和の大切さ

被爆地への平和派遣

平和の尊さについての知識を深め、平和への意識を高めていただくため、次代を担う子どもたちと保護者(7組14名)を、広島と長崎へ隔年で派遣しています。

今年、8月8日〜10日に長崎を訪れ、原爆犠牲者慰霊平和祈念式典や、青少年ピースフォーラムに参加したほか、原爆資料館や平和祈念像、原爆落下中心地などを見学しました。

【問合せ】総務課総務係(本庁舎3階) ☎(5273)3505・☎(3209)9947へ。

今年長崎へ派遣された皆さん

- ▼河木喜久子さん、裕美さん(四谷小4年)
- ▼北川貴一朗さん、葵生里さん(津久戸小6年)
- ▼木村晋一郎さん、真康さん(市谷小4年)
- ▼佐藤幸代さん、有香さん(女子学院中3年)
- ▼長崎恵子さん、昇太さん(落合第一小5年)
- ▼古本素子さん、創太さん(新宿西戸山中2年)
- ▼吉野百合子さん、晶さん(西新宿小4年)



長崎平和祈念像

平和派遣報告会

今年の平和派遣に参加した皆さんが、長崎で体験したことを発表します。

早稲田少年少女合唱団による、平和をテーマにしたコンサートもあります。

【日時】10月5日(日)午後1時30分〜4時30分

【共催】新宿区平和派遣の会

【会場・申込み】当日直接、戸塚地域センター(高田馬場2-18-1)へ。未就学児も入場できます。
【問合せ】総務課総務係(本庁舎3階) ☎(5273)3505・☎(3209)9947へ。



広島で学んだ平和の尊さ

平和派遣に参加した皆さんは、派遣を通じて深めた平和への意識を、日々の生活の中で周囲へ伝える活動をしています。

今回は、昨年広島への派遣に参加した青葉萌奈美さん(落合第四小6年・当時)が、平和への思いをつづった讀書感想文を紹介します。

「二十四の瞳」を読んで

「平和とは、もともとあるものではなく、自分たちが創つていくものです。」
と、担任の先生は仰いました。

私はこの夏、新宿区の平和派遣団として広島へ行ってきました。しかし、広島へ行く前の私の頭の中では、「平和」と「戦争」が上手く結び付いていませんでした。「戦争」の悲惨さを学び、こ

この「なげ戦争」のことを学ばなければならぬのかと思うほどでした。でも、広島へ行って私の頭の中は、一気に変わりました。実際に現地へ行って色々なものを見たり聞いたりするうちに、「戦争」とは、どういふものなのかを知らない、「平和」は成り立たないのだ、そして平和な世界にするためには努力が必要なのだ、と思うようになりました。そう考えた時、先生が仰った言葉がすうつと心に入ってきました。

このことについて私は、このよう な気持ちを持っていたら治安維持法によってつかまってしまうのではないかとドキドキしました。私は、本文中にこんな文を見つけた。「人は何のために子を生み、愛し、育てるのだろうか。砲弾をうたれ、さけてくだけて散る人の命というものを、惜しみかなしみとどめることが、どうして、してはならないことなのだろうか。」

「戦争は、人の体だけでなく、精神や心までも破壊してしまいます。私は、たくさん死体や大火傷の人々の中でも平気でおにぎりや食べられたのですから。」私は、戦争や戦時下の教育は、子どもたちの心の中まで「こわしてしまふのか」と思い、本当に悲しくなりました。

現代においても、世界では戦争をしている国々があり、子どもが銃を抱えて戦っている姿をテレビで見たことがあります。その事を考えると、今、私が平和な国に住んでいる事に感謝しなければならぬと感じました。そして、一日でも早く戦争の無い世の中が訪れる事を願いたいと思います。

戦争に反対すると非国民と呼ばれる、そんな時代でも、大石先生は戦争反対の気持ちを強く持っていたのだと思います。

戦争に反対すると非国民と呼ばれる、そんな時代でも、大石先生は戦争反対の気持ちを強く持っていたのだと思います。

全国消費実態調査にご協力を

【調査対象地域】
▶大久保1丁目の一部
▶中落合1丁目の一部

総務省統計局が5年ごとに実施する、所得・消費・資産の側面から国民の生活を総合的に把握する調査です。全国の約5万6千世帯を対象に、9月〜11月に実施されます。調査の結果は、国や自治体の施策の基礎資料となります。

調査員証を携行した調査員が伺って、調査票を配布・回収します。統計法により秘密は厳守されます。調査の趣旨をご理解いただき、調査票には正確に記入をお願いいたします。

リサイクル講座

①厚地の古布からおしゃれバッグ作り

【日時】9月17日(水)午後1時〜4時

【費用】500円(資料代・材料費)
【持ち物】デニム地かキャンバス地の古布(32cm×108cm)ほか

②廃食油から固形石けん作り

【日時】9月26日(金)午後1時〜3時

【内容】入浴や食器洗いに利用できる、環境にやさしい石けん作り
【費用】200円(資料代・材料費)
【持ち物】廃食油(ある方)・切り開いていない1リットルの牛乳パック(石けんを入れる容器)・ゴム手袋・ゴグル(ある方)ほか

【対象】区内在住・在勤の方、①は15名・②は20名
【共催】新宿環境リサイクル活動の会

【会場・申込み】往復はがきに2面記載例のほか希望講座(①②の別)を記入し、8月25日(必着)までに新宿リサイクル活動センター(〒169-0075高田馬場4-10-1) ☎(53330)5374(月曜日休館)へ。応募者多数の場合は抽選。

緑の募金にご協力

ありがとつございまして

区内の募金総額は13万6千151円でした。この募金は東京緑化推進委員会が一括集計された後、森林の整備・地域の緑化推進・普及啓発などの事業に役立っています。

【問合せ】みどり公園課みどりの係(本庁舎7階) ☎(5273)3924へ。

学習会「迫り来る息子

介護の時代を考える」

●区消費者活動促進等助成事業

【日時】8月22日(金)午後1時30分〜3時30分

【会場】新宿消費生活センター1分館(高田馬場1-32-10)

【対象】区内在住・在勤の方、10名

【内容】少子化・晩婚化・生涯未婚率上昇等を背景に増加

消費生活バス見学会

【日時】9月11日(木)午前8時10分に東京三協信用金庫本店(高田馬場2-17-3)前に集合、午後6時ごろに高田馬場駅前解散(往復バス利用)

【行き先】フジッコ(株)関東工場(埼玉県加須市)、(株)不二ドライクリーニング工場(栃木県宇都宮市)

【対象】区内在住・在勤の方、20名

※歩きやすい靴でご参加ください。

【費用】千300円(昼食代)

【協力】新宿区消費者団体連絡会

【申込み】往復はがきに2面記載例のほか年齢を記入し、8月26日(必着)までに新宿消費生活センター(〒169-0022新宿5-18-21、第2分庁舎3階) ☎(5273)3834へ。

【問合せ】新宿消費生活センター(〒169-0022新宿5-18-21、第2分庁舎3階) ☎(5273)3834へ。

はがき・ファックスの記載例

- ①講座・催し名
- ②〒・住所
- ③氏名(ふりがな)
- ④電話番号(往復はがきには、返信用にも住所・氏名)

講座・催し等の申し込み
※あて先は各記事の申し込み先へ。※費用の記載のないものは、原則無料。